

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	16HP2011	事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
編集委員の国際的な多様性と引用頻度 向上への取組		一般社団法人 日本神経病理学会	理事長 村山 繁雄
学術刊行物の名称			(略称)
NEUROPATHOLOGY			

【平成 30 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>NEUROPATHOLOGY は神経病理学の専門誌（英文誌）として堅実な実績をあげている。とくに、申請前に下降していたインパクトファクターを本事業の取組で上昇へと転じさせた点は評価できる。</p> <p>一方で、海外編集委員の比率は 40%にとどまり、目標の 50%に達していない。現時点でその道筋が明確に描けておらず、目標達成への努力を期待する。</p>	